

日本医学柔整鍼灸専門学校 柔道整復学科
平成 28 年度第 1 回 学校関係者評価委員会 議事録

日時 平成 28 年 9 月 14 日（水曜日）19 時～20 時

場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 102 教室

出席	委員	伊藤 述史（公益社団法人東京都柔道整復師会 副会長） 小泉 利幸（三進興産 営業部長） 佐藤 和伸（佐藤代田整骨院 院長）、欠席 深沢 篤（みさと接骨院 チーフ） 道狭 浩子（ひろこ整骨治療室 院長）	計 4 名
	学校	奥田 久幸（校長） 岸本 光正（副校長） 木下 美聡（学科長、議長） 大隅 祐輝（学科教員）	計 4 名
	事務局	小杉 泰輔（部長） 松丸 浩子（次長）、欠席 大友 員彦（教務グループ係長）	計 2 名
		合計 10 名、敬称略	

議題等

1. 自己評価報告書の取組状況

前回の委員会の検討事項であった基準 3.教育活動「アーリーエクスポージャー（EEP）」、基準 5.学生支援「キャリア支援センターの取り組み」、基準 5.「トレーナー活動（NITT）」の取組状況を報告した。また、本年度の自己評価報告書を文部科学省ガイドライン準拠版に変更し、完成したことを報告した。

（委員の意見）

・柔道整復師は外傷を治す医療家であることをしっかり理解させてほしい。キャリア支援センターの講座では、機能訓練指導員の制度を理解させてほしい。開業するにも技術が必要であることを理解させることも学校の責任である。

（学校の回答）

・理解させる方法を検討する。

2. 学校経營業績重要指標の進捗状況

定量目標である退学・除籍率、就職率、定員充足率と、定性目標である「態度マナー教育の徹底」、「教職員の人材育成強化」、「外部との連携」における第一四半期の進捗状況を説明し、意見交換した。

（委員の意見）

・7S の戦略的には何か。
・国家試験合格率はどうか。
・資格者約 8 万人、従事者約 6 万人、開業者約 4 万人、制度の仕組みが問われている。

（学校の回答）

・優先順位をつけ計画的に取り組むことであり、2015 年度の主なものとして喫煙所を移設した。
・国家試験合格率の目標達成のため組織として取り組む。態度マナー教育の効果を実感している。

- ・委員の意見を反映し、集まる学校にしていく。

3. その他

次回の委員会日程を次のとおり確認した。

- ・平成 29 年 2 月 15 日（水）18 時開始

以上

日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科
平成 28 年度第 1 回 学校関係者評価委員会 議事録

日時 平成 28 年 9 月 15 日（木曜日）15 時～16 時

場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 102 教室

出席 委員	伊集院 克（公益社団法人東京都鍼灸師会）	計 4 名
	菊池 優子（貴子鍼灸治療室 副院長）	
	藤原 良次（株式会社アールエフ 代表取締役）	
	前田 真也（カリスタ株式会社 代表取締役）	
学校	前田 千尋（カリスタ株式会社 院長）、欠席	計 5 名
	奥田 久幸（校長）	
	岸本 光正（副校長）	
	青木 春美（学科長）	
	三村 聡（学科教員、議長）	
事務局	渡邊 靖弘（学科教員）	計 3 名
	小杉 泰輔（部長）	
	松丸 浩子（次長）	
	大友 員彦（教務グループ係長）	
合計 12 名、敬称略		

議題等

1. 自己評価報告書の取組状況

前回の委員会の検討事項であった基準 3.教育活動「アーリーエクスポージャー（EEP）」、基準 5.学生支援「キャリア支援センターの取り組み」、基準 5.「トレーナー活動（NITT）」の取組状況を報告した。また、本年度の自己評価報告書を文部科学省ガイドライン準拠版に変更し、完成したことを報告した。

2. 学校経営業績重要指標の進捗状況

定量目標である退学・除籍率、就職率、定員充足率と、定性目標である「態度マナー教育の徹底」、「教職員の人材育成強化」、「外部との連携」における第一四半期の進捗状況を説明し、意見交換した。

（委員の意見）

- ・退学理由を確認したい。
- ・退学を減少させるには、入学時のミスマッチをなくすような取り組みが必要ではないか。教職員の面談のスキルの向上を図るのにアドラー心理学を参考に、結果論でどうしたいかを共有できるとよいのではないか。クラス担任の負担軽減のために、学生相談を補佐するスタッフの導入を検討してはどうか。
- ・卒業性に就職活動の体験談を發表させてはどうか。実務家の課外授業を取り入れてはどうか。
- ・東京都鍼灸師会等の業界団体をもっと活用してほしい。業界と連携を深めるには治療院に対し SNS 等で教員の情報発信を強化してはどうか。

（学校の回答）

・退学理由は、出席日数不足、勉強に対するプレッシャー、あきらめる癖等である。また、周囲の学生のやる気が自信喪失につながって退学した学生がいる。

- ・入学時のミスマッチ対策を検討する。教員が理解者になれるような指導をしたい。
- ・オープン科目では、「皮膚学」等、学生の興味ある内容の開講を予定している。
- ・業界との連携を強化していきたい。

3. その他

- 次回の委員会日程を次のとおり確認した。
- ・平成 29 年 2 月 15 日（水）18 時開始

以上

平成 28 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会(柔道整復学科)議事録

【日時】平成 29 年 2 月 15 日 (水) 19 時～20 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

【出席】委員 伊藤 述史 (公益社団法人東京都柔道整復師会 副会長)
小泉 利幸 (三進興産 営業部長)
佐藤 和伸 (佐藤代田整骨院 院長)
深沢 篤 (みさと接骨院 チーフ)
道狭 浩子 (ひろこ整骨治療室 院長) 計 5 名
学校 奥田 久幸 (校長)
岸本 光正 (副校長)
木下 美聡 (学科教員、議長)
伊藤 恵里 (学科教員) 計 4 名
事務局 松丸 浩子 (次長)
大友 員彦 (教務グループ係長) 計 2 名
合計 11 名、敬称略

< 議題 >

学校経営業績重要指標の進捗状況がなされた。

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」と、定性目標である「態度マナー教育の徹底」「教職員の人材育成強化」「外部との連携」における第 3 四半期の進捗状況を説明し、意見交換した。

(委員の意見／質問)

- ・就職先はどのような企業や治療院が多いのか？

(学校の回答)

大手のチェーン店が多い。女性は介護施設への就職もある。

介護施設へは、機能訓練指導員として就職している。実技の技術がある方も介護に就いている例もある。

- ・学生は大手接骨院のどこに魅力を感じているのか？

(学校の回答)

おそらく、福利厚生 (社会保障制度や休日がある等) が充実しているところや学生は

トレーナー希望が多いので「スポーツ企業」と連携しているというところが多いのではないかと。

・業界フェスタでは、多数の企業が参加しているようだが、学生の就職先として、学校側が見極めた上で、フェスタへの参加許可を出すようにすべき。

(学校の回答)

教員で企業のチェックはするようにしている。今後も継続し、学生の就職先に相応しい企業の参加のみ受けつけることとする。

以上

平成 28 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会（鍼灸学科）議事録

【日時】平成 29 年 2 月 16 日（木） 15 時～16 時

【場所】日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 101 教室

【出席】委員 伊集院 克（公益社団法人東京都鍼灸師会）
菊池 優子（貴子鍼灸治療室 副院長）
藤原 良次（株式会社アールエフ 代表取締役）
前田 真也（カリスタ株式会社 代表取締役） 欠席
前田 千尋（カリスタ株式会社 院長）、 計 4 名
学校 奥田 久幸（校長）
岸本 光正（副校長）
青木 春美（学科長）
三村 聡（学科教員、議長）
渡邊 靖弘（学科教員） 計 5 名
事務局 松丸 浩子（次長）
大友 員彦（教務グループ係長） 計 2 名
合計 11 名、敬称略

< 議題 >

学校経営業績重要指標の進捗状況がなされた。

定量目標である「退学・除籍率」「就職率」「定員充足率」と、定性目標である「態度マナー教育の徹底」「教職員の人材育成強化」「外部との連携」における第 3 四半期の進捗状況を説明し、意見交換した。

（委員からの意見）

・重要指標に基づき、四半期毎に振り返りを行っていることは非常に良い取り組みだと思う。

・中国研修は義務化できないか。自分自身も日本医専在学中に中国上海研修に参加したが、鍼灸に対して深く学ぶことが出来た。技術面でもそうだが、精神面においても、大学病院の教授から「患者はすべて自分の両親や家族だと思って施術しなさい」という教えは今でも心に残っている。

非常に有意義な研修だったので希望者制でなく義務化すると良いのではないか。

（学校の回答）

海外での授業になるため、単位として認めることができないこともあるため、義務化にす

るには課題も多々あるが前向きに検討したい。

・教職員のモチベーションを上げるための施策は行っているのか？ビジョンやポリシーを掲げることは重要だが、それに向かって進む教職員のモチベーションも維持していかなければいけない。

(学校の回答)

昨年度から評価制度の導入を実施し、定期的に上司と部下で面談を行って振り返りを行っている。

また、月 1 回の教職員全員参加の会議で目標と現状の共有を実施したり、教職員の表彰を半期と通年の 2 回行ってモチベーションの向上に努めている。

以上